

平成26年11月20日

平成26年度
環境省使用済製品リユースモデル事業

リユースショップと連携した 「大学リユース市」事業

いらないモノ
処分したい...

卒業生

八王子市資源循環部

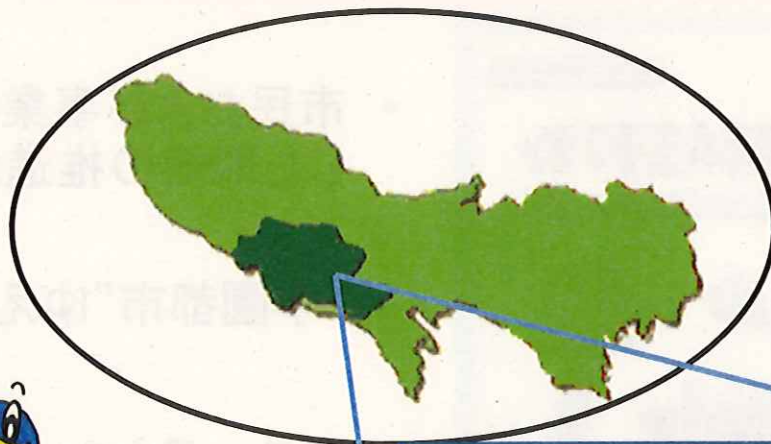
新生活に必要な
ものが欲しい！

新入生

八王子市について①



▲八王子市リサイクルマスコット「くるり」



《八王子市》
・人口 約56万人
・面積 約186km²
※平成27年4月より中核市移行

八王子市について②



モデル事業応募への経緯



- 市民および事業者と協働した取組の推進が必要
- “学園都市”ゆえの課題
- リユースショップの市民ニーズ

▲八王子市ごみ処理基本計画

プランの概要(リユース市とは?)

- 卒業する学生が不要となる再生可能品を無償で新入生に提供するイベント。



▲平成25年度のリユース市のようす

平成25年度より中央大学FLP環境プログラム・佐々木創ゼミの学生が主体となり開催。
行政支援としては全国初の取り組み。

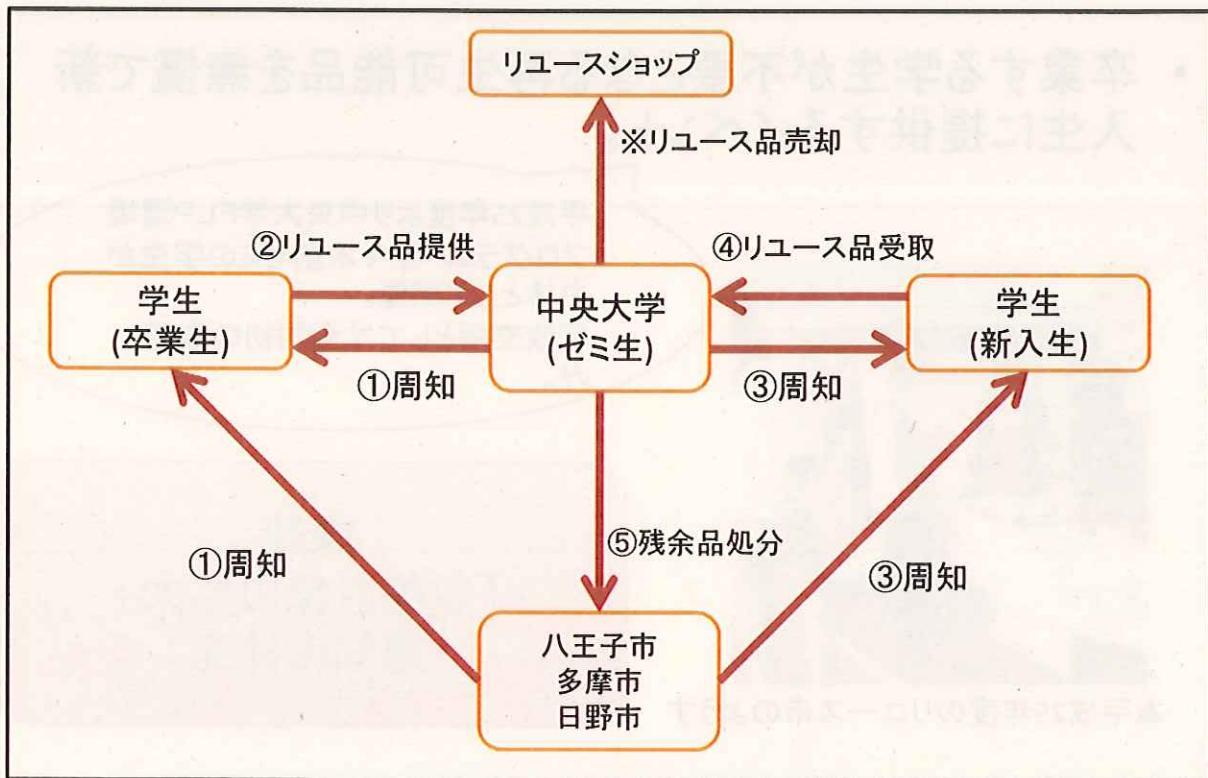
課題

「収集対象の拡大」
「周知の拡充」

今年度の新たな取り組み

- 近隣自治体(多摩市・日野市)に規模を拡大して実施
- リユースショップとの連携を図る
- 市民向け「リユースショップ紹介冊子」を学生と共同作成

「リユース市」の実施概要図



市民向け「リユースショップ紹介冊子」

- ・市内および近隣のリユースショップを紹介
- ・リユースについての周知、啓発

- ・中央大学のゼミ生と協力して作成する
- ・リユースショップへの売却だけでなく、購入も推奨することで循環型社会を推進



▲世田谷区リユースショップ紹介冊子

想定される効果

- 大学内でのリユースの環が生まれる
- 市場価値の低い品物のリユースが可能になる
- リユースショップを活用した再利用の促進



「リユース品」循環システムの構築

「売れるもの」は
リユースショップへ

「売れないが使えるもの」
はリユース市へ

想定される課題

- 広報、PR
→ターゲットである学生に対して効果的に周知を行い、回収品を増やすこと
- 市域を超えたリユース品の収集
→近隣市(多摩市・日野市)との調整等が必要
- 冊子に掲載するリユースショップの選定
→どのような基準で掲載店舗を決めるか

これまでの活動内容

- 学園祭にてアンケート調査と周知活動を実施
(10月31日、11月2日)
→アンケートに437人が協力してくれた
(うちボランティア希望者5名)

- 冊子作成について、日本リユース業協会へヒアリング及び事業説明を実施



▲学園祭のようす

今後のスケジュール

- リユース品の引取り開始(1月下旬～)
- リユースショップ紹介冊子の作成・配布(2月)
- リユース市の開催(3月末)